

県下主要スーパー業績一覧

※10店を超える店舗を展開する地元企業

社名（所在地） 資本金	期末店舗数 （前期比）	売上高 （前期比）	経常利益 （前期比）	決算期	備考
大黒天物産(株)（倉敷市） 16億6100万円	186 (+6)	連結2120億5900万円 (+15.6%)	61億4900万円 (+110.7%)	2020年5月	新潟、愛知、和歌山、香川、愛媛に計4店出店し、岡山、鳥取、愛媛で改装を計4店実施。利益は水害関連の特損を計上した前期から大幅に増加
(株)ハローズ（早島町） 31億1414万円	86 (+4)	1312億1700万円 (+5.9%)	53億1200万円 (+7.6%)	2020年2月	徳島県3店、兵庫県1店の出店効果と広島県東部などの4店の改装効果で増収。PB商品の強化、改装を通じた店舗標準化による効率化などで増益
(株)山陽マルナカ（岡山市） 2500万円	61 (-14)	— 1241億円	— —	2020年2月	西日本豪雨で被災した真備店を再開した一方、東古松店を閉店。イオングループでの店舗網再編に伴い近畿エリアの14店を(株)ダイエーに譲渡した
(株)マムハートホールディングス（津山市） 1000万円	50 (-1)	SM3社合計447億6500万円 (+9.0%)	同4億900万円 (▲32.5%)	2020年2月	マルイ、エスマート、わたなべ生鮮館を展開。5店を出店する一方、非効率店を6店閉店するスクラップアンドビルドを推し経費が増加 <small>前期は決算期変更による10か月決算</small>
(株)天満屋ストア（岡山市） 36億9750万円	49 (+1)	連結711億8000万円※1 (▲3.6%)	20億7700万円 (▲10.5%)	2020年2月	被災したハピーズ真備店を再開し北長瀬店をオープン。100均導入などの改装を3店を実施。GMSの衣料品、家庭用品が増税の影響で苦戦し減収減益
(株)仁科百貨店（倉敷市） 3000万円	26 (±0)	277億1683万円 (+0.3%)	1億1540万円 (▲70.2%)	2020年2月	倉敷市役所北店を出店し堀南店（倉敷市）、中仙道店（岡山市）を改装。加須山店を閉店。増税後の販促合戦と出店で経費がかさみ大幅減益
両備ホールディングス(株)ストアカンパニー —	—	108億8200万円 (▲2.4%)	1億3200万円 (▲28.8%)	2020年3月	地域の空洞化などで不採算となっていたプラッツ西大寺店を閉店。農産物の相場安、消費税増税で苦戦。効率化へ新発注システムを導入
生活（協）おかやまコープ（岡山市） 100億694万円※2	11 (±0)	402億2861万円 (▲0.7%)	4億7961万円 (▲5.5%)	2020年3月	店舗売上高114億1252万円（前期比1.5%減）、宅配268億1996万円（同0.4%減）。山陽店を改装。増税の影響で減収。固定資産の減損損益を計上

※1 営業収益 ※2 出資金